

宝塚市議会報告

本気の力！市政を変える。VOL. 18

—私たちのまちは、私たちでつくる。—

〒665-0033 宝塚市伊子志 2 丁目 17-8-4F TEL & FAX : 0797-72-2130

Topic

- ご挨拶（6月議会報告）
- 6月議会報告（一般質問）
- NTN 跡地・ガーデンフィールズ跡地 利活用について
- 産業建設常任委員会委員長に就任
- メルマガのご案内 いとう順一プロフィール
- いとう順一とつくる会通信

この報告書の発行費用は、後援会から捻出し、政務活動費は使用していません。



宝塚市議会議員 **いとう 順一**（新風改革・維新の会）

ご挨拶（6月議会報告）

中川市政は、市政が抱える現実的な諸問題を解決する意思があるのか？

私は、それをやることで、宝塚市が発展し、市民全体の利益につながるのか？ このことを念頭に行動させて頂きたいと常日頃から考えておりますが、今回、6/24の大河内議員の一般質問を、北野議員が途中で遮り、議会がストップした件で、マスコミが大勢議会に押し寄せました。

中川市長は、東京の渋谷区で、全国で初めて、同性カップルに対して結婚に準じる関係と認める「パートナーシップ証明」を発行する条例がされたのを契機に、宝塚市でも条例制定を視野に入れた検討会の開催を行っています。

このLGBT(Lesbian・Gay・Bisexual・Transgender)に関する件は、その検討会を経て、本年12月議会に条例案として議会に提出されるのではないかと予想されています。

今回の大河内議員の質疑の中で、「LGBTの問題に対し問題提議をしている」と市長は答弁しましたが、今回の件が大きく報道されたことによって、中川市長にとっては、してやったりという感じではないでしょうか？

中川市政は、国民的議論が進んでいない問題やイデオロギーの対立がある問題を取り上げますが、議会を分断し、財政健全化の問題や、土地購入に対する批判をかわそうという狙いがあるのか、或いは、宝塚市政が現実的に抱える諸課題解決から逃げているように思えてなりません。

検討会を開催すると市の幹部職員・担当者はその問題で時間を割きます。条例案が提出されると議会は議論を強いられます。

議会の中で不必要な議論と思えるものはほとんどありませんが、まずは市政が目の前に抱える諸課題解決に全力を尽くして欲しいと思うのが、多くの市民の願いではないでしょうか？

先日の私の一般質問においてとりあげさせて頂いた、地域エネルギー政策の質問の中で、市長が加盟している「脱原発をめざす首長会議」が、5/10に宝塚市内で第4回年次総会を開き、2030年の電源構成比率で原発を20~22%とする政府案に反対する緊急決議を採択したことに触れさせて頂きました。

この政府案は、福島原発事故以来、様々な議論を通してようやく導かれたものです。

市長の答弁は、「個人として参加している」というものでしたが、首長の会議を宝塚市で開催し、個人はないだろうと思いました。

市民は県民でもあり国民でもありますので、どの問題も市政が関係がないわけではありませんが、議論が適すべき場所や優先順位があります。

野党国会議員のやり方そのままの状態、リーダーシップを取られると、市民の対立を生みますし、そのことで、結局市民が迷惑を被ることになるのではないかと、改めて感じたこの頃であります。

今後も、宝塚市が住みやすく、市民が誇りを持てるまちにするために、全力で頑張る所存ですので、何卒ご理解賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

ブログ随時更新中！ <http://jito.jp>（携帯でも閲覧できます）

いとう順一の活動や考え方を、週3日~4日に一度、ブログにてお伝えしています。是非アクセスして下さい。